

車両内警告灯 CMT-WL II 仕様及び取扱説明書

このたびは、車両内警告灯 CMT-WL II をご購入頂きまして誠にありがとうございます。
車両内警告灯 CMT-WL II をご使用になる前に、必ずこの仕様及び取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。

1. 概要

本機は、現場工事用車両内に取り付けて、弊社接点信号送信機からの信号電波を受信し、その信号により警告灯（赤色）を点滅表示させ、注意喚起する装置です。また、警告灯と共にブザーも鳴動します。

また、警告灯使用のほかに、簡易受信機としても使用でき、弊社信号機、メッセージボードを接続することができます。

2. 使用制限

本機は、弊社「接点信号送信機（CMT-TX）」、「ソーラー式接点信号中継機（CMT-RP）」との組み合わせのみ使用できます。

3. 機器設定、操作法

本機は、警告灯部とコントローラ部で構成されています。（外観図参照）

◎警告灯部

- | | |
|----------|---|
| ① 動作スイッチ | 警告表示動作をするか／しないかのスイッチです。「OFF」側で動作しません。「ON」側で、待機状態になります。動作した時に「OFF」側にすると、警告表示動作を止めます。 |
| ② 警告灯表示部 | 警告灯のランプ点灯表示窓です。警告表示の待機時には、窓中央が青色に光ります。信号電波を受信して動作すると、窓全体が赤色に点滅発光します。 |
| ③ 固定用座 | 表示部を固定する為の固定座です。吸盤又は、マグネット等にて、見やすく、出来るだけ平らな面に固定してください。 |

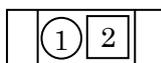
◎ コントローラ部

コントローラの蓋を開けると、内部にコントローラ基板があります。

- ④ 電源プラグ 本機の電源用プラグです。シガーレットライター用プラグ（標準仕様）ですので、プラグをシガーレットライターのソケットに差し込んでください。

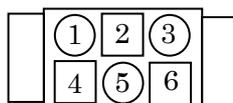
※ 使用する電源に合わせて、電源コードを交換することができます。（⑩部）

- ⑤ 電源端子台 電源端子です。直流 12V又は24Vを使用します。接続時には、+、-極性を確かめて接続してください。
- ⑥ 「ブザー」スピードボリューム 回すと、ブザー警告音の断続スピードを変えられます。左いっぱいに戻して、警告音を鳴らさない設定になります。右いっぱいに戻して、警告音は連続して鳴ります。
- ⑦ 「ランプ」スピードボリューム 回すと、警告灯ランプの点滅スピードを変えられます。右いっぱいに戻して、ランプは連続点灯になります。
- ⑧ 送信機 ID 設定スイッチ 接点送信機又は中継機の ID を登録、消去するスイッチと表示ランプです。（詳細は、次項の「送信機 ID 登録と動作について」を参照）
- ⑨ 受信アンテナ用 BNC コネクタ 無線受信機のアンテナ接続コネクタです。
- ⑩ 電源中継コネクタ 電源接続用のコードを接続するコネクタです。カープラグ付の電源コードが付属しています。カープラグ以外の電源を使用する場合は、このコネクタで差し替えて使用することができます。



コネクタ信号図	
1	電源 +
2	電源 -

- ⑪ 信号中継コネクタ 車両内警告灯として使用する場合は、警告灯表示部をここに接続します。簡易受信機として使用する場合は、警告灯部を外して、使用目的に応じた信号ケーブルを接続します。

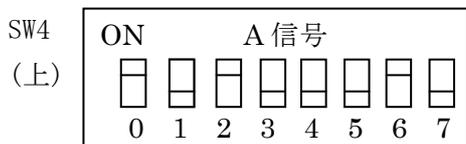


コネクタ信号図	
1	電源スイッチ 出力
2	電源スイッチ 入力
3	出力 B(オープンコレクタ)
4	出力 A(オープンコレクタ)
5	GND
6	GND

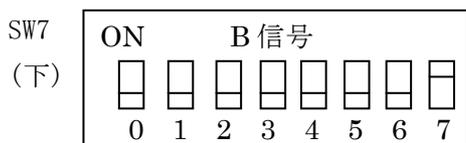
⑫ 受信チャンネル設定スイッチ、A信号、B信号

受信を許可するチャンネルを設定します。上が「A信号」側、下が「B信号」側チャンネルです。それぞれのスイッチのつまみを上（ON）にしたチャンネル全部が、受信可能になります。

設定例：



スイッチ 0、2、6 のつまみが上の時
「A信号」は、「0、2、6」チャンネルが受信許可

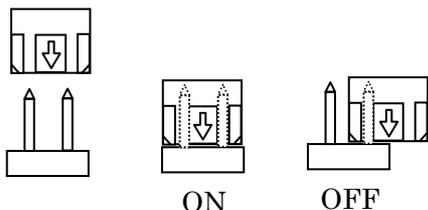


スイッチ 7 のつまみが上の時
「B信号」は、「7」チャンネルが受信許可

⑬ 動作設定ジャンパ

本機の動作モードを設定する、ジャンパスイッチです。車両内警告灯モードと簡易受信機モードがあります。設定の詳細は、下記のようになっています。

A) ジャンパスイッチの設定の仕方



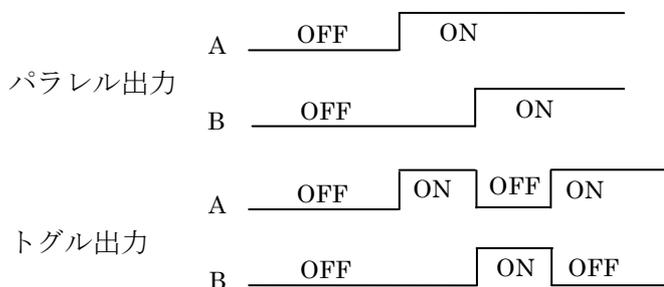
端子に添付のショートプラグを差し込むと、ON になります。OFF の時は、片方のピンだけに差し込んでおきます。（紛失防止）

B) 「JP3」 動作モードを設定するジャンパスイッチです。

JP3	動作モード
OFF	車両内警告灯
ON	簡易受信機

C) 「JP4」 簡易受信機モード時の出力動作を設定します。

JP4	出力 A, B の動作
OFF	平行出力
ON	トグル出力



- ※ 平行出力は、入力された信号から順次 ON して、継続します。
- ※ トグル出力は、入力された信号が ON し、もう一方が ON していた場合は OFF し、状態は継続します。
- ※ ⑫、⑬の設定後は、電源を入れ直してください。 車両内警告灯表示部の動作スイッチを一旦「OFF」してから「ON」してください。（簡易受信機として使用している場合は、電源スイッチがありませんので、電源中継コネクタ⑩にて、ON/OFF してください。）

⑭ テストスイッチ、動作ランプ

テスト用スイッチです。押すと、「A信号」の「0」チャンネルを送信した状態と同等になります。

有効なチャンネルの接点信号を受信すると、動作ランプ2個が点灯します。

4. 送信機 I D 登録と動作について

- (ア) 接点送信機又は中継機(以降まとめて「送信機」)からの接点信号を本機で受信させるには、使用する送信機固有の I D を本機に登録する必要があります。登録されていない送信機の信号は除外されます。
- (イ) 本機の受信機には、送信機 I D を 1 0 0 台分登録できます。
- (ウ) 実際の動作は、送信機 I D を登録した上で、3-⑫の受信チャンネル設定スイッチで、使用するチャンネルを受信許可にしないと動作しません。
- (エ) 本機は、「電池電圧低下」と「確認」信号を受信しても除外され、動作には影響しません。

◎送信機 I D 登録手順

- 1) I D の全消去 新規使用する場合、以前の I D を一旦全部消去します。
 - ① 電源 OFF
 - ② 送信機 I D 設定スイッチ 「SET」 「M2」 両方
 - ③ 電源 ON
 - ④ 「M1」 LED が点灯するまで待つ
 - ⑤ 電源 OFF
 - ⑥ 受信機 I D 設定スイッチ 「SET」 「M2」 両方 OFF

- 2) I D の登録 現場で組にして使用する送信機の I D だけ登録します。
 - ① 電源 OFF
 - ② 送信機 I D 設定スイッチ 「SET」 だけ ON
 - ③ 電源 ON
 - ④ 使用する送信機のテストボタンを押して、電波送信。
 - ⑤ 「M1」 LED が点灯するまで送信。
 - ⑥ 他に使用する送信機がある場合、④～⑤を繰り返す。
 - ⑦ 電源 OFF
 - ⑧ 受信機 I D 設定スイッチ 「SET」 OFF

◎特定の送信機 I D だけを消去する手順

- ① 電源 OFF
- ② 送信機 I D 設定スイッチ 「SET」 「M1」 両方 ON
- ③ 電源 ON
- ④ 消去する送信機のテストボタンを押して、電波送信。
- ⑤ 「M2」 LED が点灯するまで送信。
- ⑥ 他に消去する送信機がある場合、④～⑤を繰り返す。
- ⑦ 電源 OFF
- ⑧ 受信機 I D 設定スイッチ 「SET」 「M1」 両方 OFF

【 注意 】

- ・新たに使い始める時は、全 I D 消去を必ず行ってください。
- ・必要とする接点送信機の I D だけを登録してください。
- ・ I D 登録時には、意図しない送信機の送信がないことを確認してください。
- ・最終受信機が中継機の場合は、中継機だけの I D を登録してください。

5. その他、注意

- (ア)コントローラの蓋を外す時は、4角にある4本のスクリューを緩めて外してください。
- (イ)本機は、防滴防水構造ではありません。雨、水等がかかる場合は、適当な防滴、防水処理を必要とします。(装置内部に水が入りますと、故障の原因になります。)
- (ウ)改造は、しないでください。
- (エ)本機を期間使用しない場合は、必ずカープラグ、電源プラグを抜いてください。

6. 一般仕様

- | | |
|-----------|----------------------|
| (ア)使用対象 | 無線による接点信号伝達／受信 |
| (イ)無線規格 | 特定小電力無線（送信5秒以内、休止2秒） |
| (ウ)使用電波 | 426.025MHz |
| (エ)通信方式 | 単方向通信 |
| (オ)動作温度範囲 | -10～+60℃（結露無きこと） |

7. 機器仕様

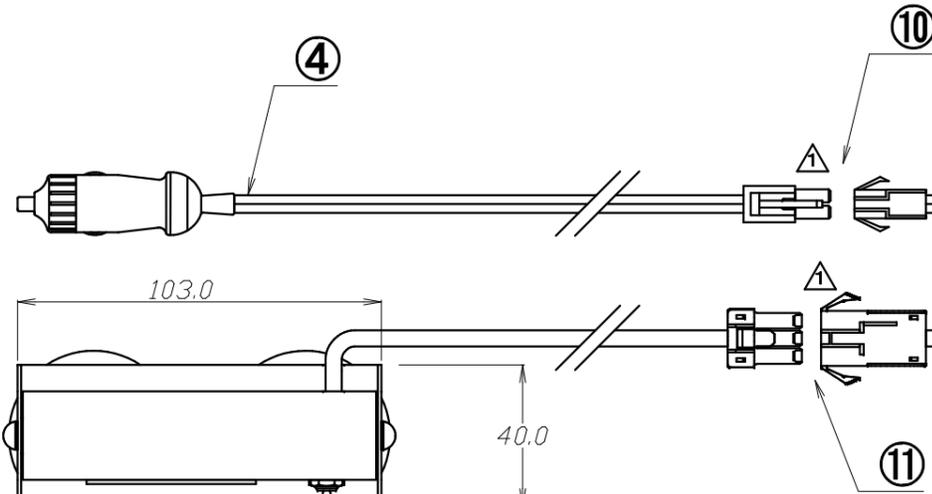
- | | | |
|------------|---|-----------------------|
| (ア)構成 | 警告灯表示部、コントローラ部から構成（外観図参照） | |
| (イ)受信信号 | 弊社「CMT-TX, CMT-RP」の送信電波 接点信号受信にて、警告表示動作。（「電圧低下」「確認」信号は排除）
送信機の固有ID番号登録可能 | |
| (ウ)動作スイッチ | トグル型スイッチ「OFF」で警告表示動作停止、「ON」で、信号電波受信待機 | |
| (エ)警告表示灯 | 停止時 | : 消灯 |
| | 待機時 | : 青色点灯 |
| | 動作時 | : 赤色点滅 |
| | コントローラ内部ボリュームで赤色点滅スピード調整可 | |
| (オ)警告音 | 警告表示動作時にブザー断続鳴動、コントローラ内部ボリュームで警告音停止及び、断続スピード調整可 | |
| (カ)電源入力方式 | シガーレットライター用プラグ使用にて、車両のシガーレットライター用ソケットから供給、また、その他入力コード接続可 | |
| (キ)電源電圧 | 直流12V又は24V、（動作電圧範囲10.5V～30V） | |
| (ク)消費電力 | 1W以下 | |
| (ケ)接続ケーブル | コントローラ⇄警告灯表示部 | ケーブル約3m |
| | コントローラ⇄電源入力プラグ | プラグ付コード約2m |
| (コ)警告灯取付方 | 吸盤又は、マグネット2個により、吸着仮固定 | |
| (サ)受信チャンネル | 使用するチャンネルの許可／不許可設定可能 | |
| (シ)信号出力 | 出力定格：オープンコレクタ 30V 50mA、弊社製品用インターフェース | |
| (ス)構造 | 警告灯表示部 | : スチール塗装、ステンレス台座、防塵構造 |
| | コントローラ部 | : プラスティックケース |

8. 外観図 別紙添付。

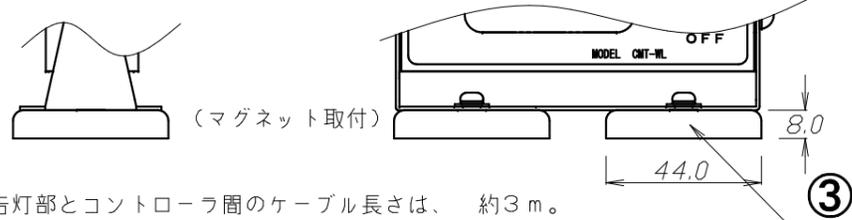
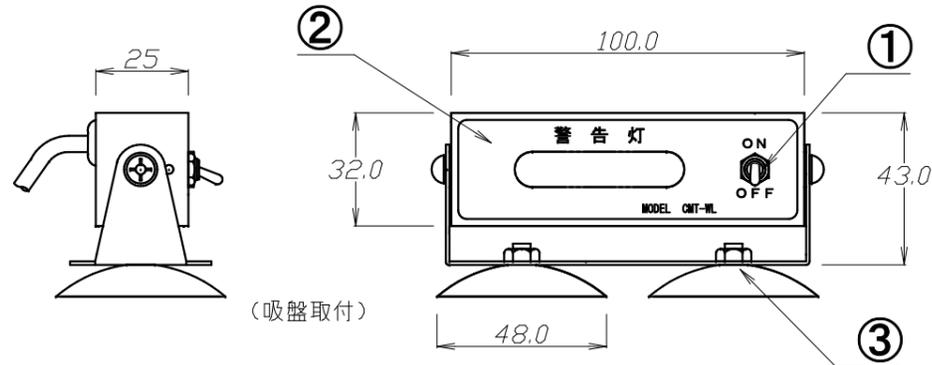
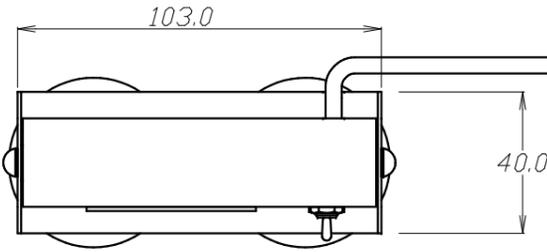
製品の仕様は、性能及び品質向上の為、予告無く変更する場合があります。
本製品の使用にあたり、人命及び財産にかかわる場合は、使用者の責任において御取扱ください。

株式会社コンラックス松本
電話：0263-81-0155 F a x：0263-84-0515

電源接続部

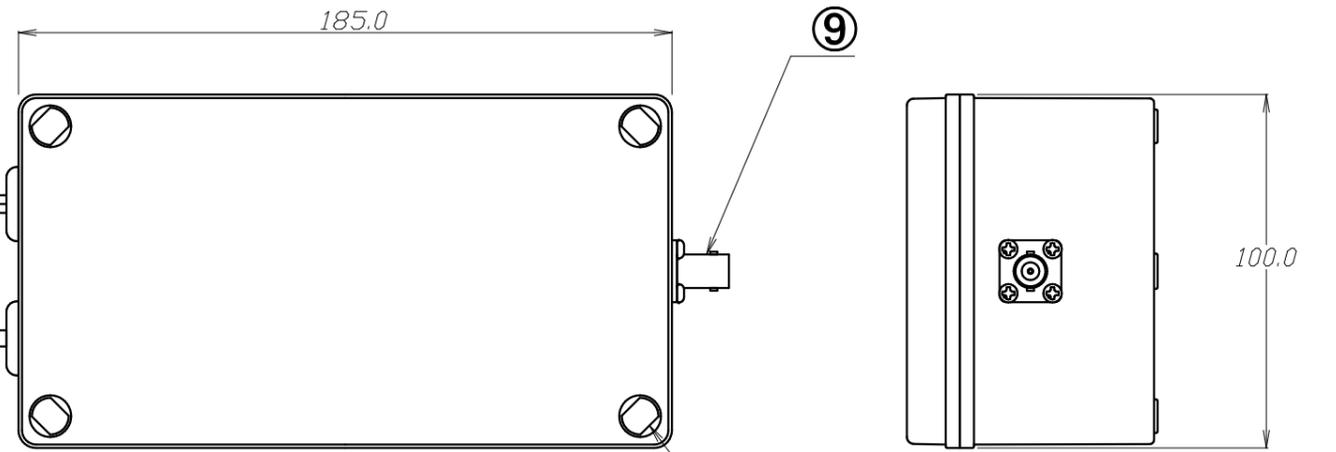


警告灯表示部

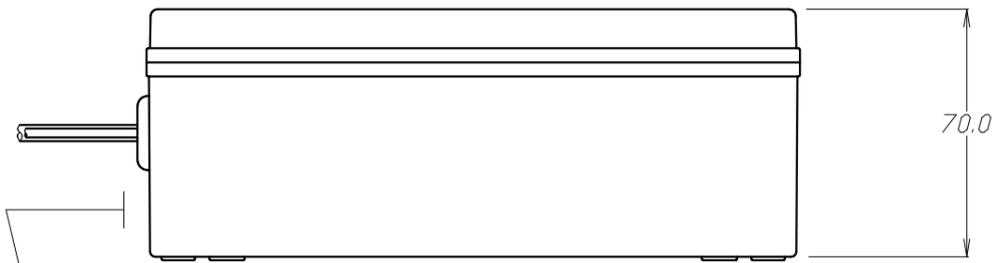


- 記-
1. 警告灯部とコントローラ間のケーブル長さは、約3m。
 2. 電源プラグとコントローラ間のケーブル長さは、約2m。
 3. 本製品は、防滴防水型ではありません。

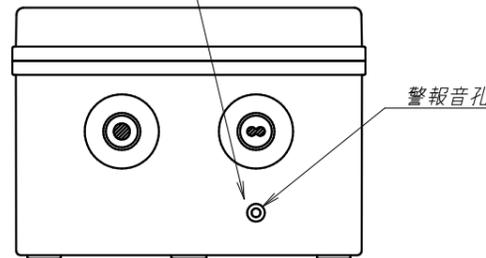
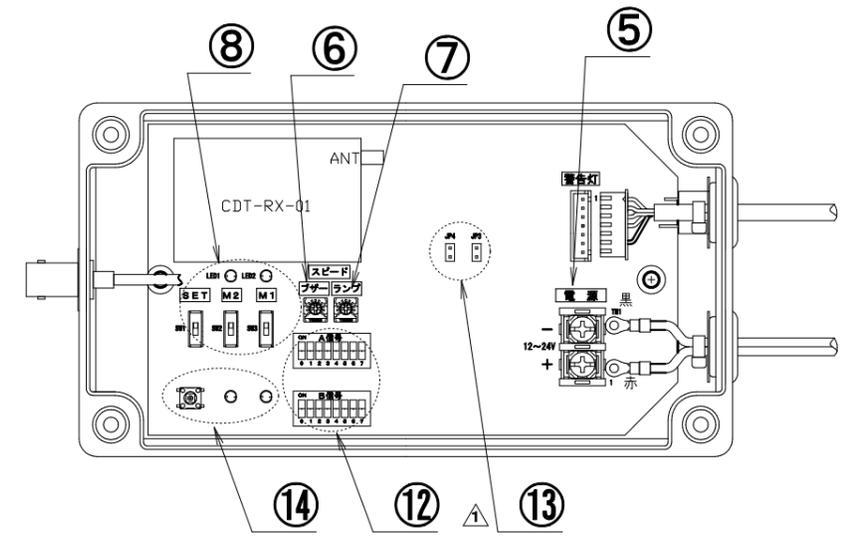
番号	名称
①	動作スイッチ
②	警告灯表示部 (通常時 青点灯、警告時 赤点灯)
③	固定用座 吸盤又は、マグネット等
④	電源コード
⑤	電源端子台 (ケース内)
⑥	「ブザー」スピードボリューム (ケース内)
⑦	「ランプ」スピードボリューム (ケース内)
⑧	送信機ID設定スイッチ (ケース内)
⑨	受信アンテナ用BNCコネクタ
⑩	電源中継コネクタ (2P)
⑪	信号中継コネクタ (6P)
⑫	チャンネル設定スイッチ (ケース内)
⑬	動作設定ジャンパ (ケース内)
⑭	テストスイッチ、動作ランプ (ケース内)



コントローラ部



コントローラ内部



承認	古澤 10.03.08	検閲		材質		図面名称	車両内警告灯 CMT-WL II	
設計	幅 10.03.04	製図	幅 10.03.04	処理		図面番号	MS0426-01	
株式会社コンラックス松本 CONLUX MATSUMOTO CORPORATION						図面番号	MS0426-01	尺度 SHEET
No 訂正事項						日付	10.08.06	担当承認
						幅	1/2	1/1